

稲盛和夫氏の歩み・功績等について

稲盛氏は、世界有数の優良企業である京セラ株式会社の創業者・経営者として、鹿児島県の産業育成や雇用確保に大きく寄与され、また、関西鹿児島県人会総連合会を設立し会長を務めるほか、鹿児島県の多くの若者を招待して京都賞受賞者鹿児島講演会を開催するなど、多方面から献身的にふるさと鹿児島のために多大なご尽力をされました。

さらに、鹿児島の国際交流の進展に大きく寄与されるとともに、次代を担う青少年の育成や福祉の向上など、鹿児島の発展に多大な貢献をされ、多くの県民・市民に明るい夢と希望を与えられました。

それら多くの功績をたたえ、2015年11月、鹿児島県民栄誉表彰と鹿児島市民栄誉賞が授与されるとともに、2019年6月には鹿児島県で初となる鹿児島県名誉県民の称号が贈られました。

【プロフィール・経歴】

- 1932年 鹿児島市薬師町に生まれる。
- 1951年 鹿児島市立玉龍高等学校卒業。
- 1955年 鹿児島大学工学部を卒業後、京都の碍子メーカーである松風工業に就職。
- 1959年4月 資本金300万円で京都セラミック株式会社（現京セラ）を設立し、社長、会長を経て、1997年から取締役名誉会長、2005年から名誉会長を務める。
- 1984年 また、1984年、電気通信事業の自由化に即応し、第二電電企画株式会社を設立し、会長に就任。約200億円相当の私財を投じて稲盛財団を設立し、理事長に就任（2019年6月から「創立者」）。同時に国際賞「京都賞」を創設し、毎年11月に人類社会の進歩発展に功績のあった方々を顕彰している。
- 2000年10月 DDI（第二電電）、KDD、IDOの合併により株式会社ディーディーアイ（現KDDI株式会社）を設立し、名誉会長に就任。
- 2001年6月より最高顧問となる。
- 2010年2月 日本航空（JAL）会長に就任。代表取締役会長を経て、2013年より名誉会長、2015年4月名誉顧問となる。
- 2022年8月 90歳で逝去。



他にも、ボランティアで36年間にわたり経営塾「盛和塾」の塾長として、経営者の育成に心血を注がれました。

【郷土鹿児島への貢献】

稲盛氏は、これまで郷土鹿児島の発展に多大なる貢献をしていただきました。その一部を紹介します。

- 京都セラミック株式会社（現京セラ）鹿児島工場（現鹿児島川内工場）、鹿児島国分工場、鹿児島隼人工場を設置し、産業振興に寄与された。
- 鹿児島市への寄附により、鹿児島市愛の福祉基金設置、鹿児島玉龍高等学校（母校）へ図書が寄贈された。
- 公益財団法人鹿児島県文化振興財団理事長を務められたほか、鹿児島市民文化ホール文化公園内に彫刻を寄贈するなど、文化振興に寄与された。
- 鹿児島市初となる「鹿児島市ふるさと大使」に就任し、国内外へのアピールに貢献された。
- 鹿児島大学に「稲盛会館」、「稲盛記念館」、また、京セラの株式100万株を寄贈されたほか、「工学部稲盛学生賞」の創設や全学共同教育研究施設「稲盛経営技術アカデミー（現稲盛アカデミー）」を設立し、教育研究施設・環境の充実及び人材育成に寄与された。
- 鹿児島県及び鹿児島市に寄附をされ、「かごしま国際交流センター」の建設に寄与された。
- （公財）稲盛財団より鹿児島市に美術品が寄贈（本県出身の彫金作家 帖佐美行氏の作品）された。